

事業種類		地すべり対策		事業名	地すべり対策				
	長野市	ふりがな 箇所名	とよの 豊野		事業年度 (完了年度は見込み)	H26 年度～	H30 年度		
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	全体	鋼管杭工 N=20本、アンカー工 N=45本、土止工L=300m、水路工 L=650m、補修・洗浄工 一式			200,000	100,000			100,000
	H26年度								
箇所評価	区分	評価項目・指標等	評価区分			①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)	
	(100)	必要性	保全対象人家	<input checked="" type="checkbox"/> 10戸以上	<input type="checkbox"/> 1～9戸	<input type="checkbox"/> 0戸	35	0.3	26
			保全対象公共施設	<input checked="" type="checkbox"/> 2箇所以上	<input type="checkbox"/> 1箇所	<input type="checkbox"/> なし	15		
			保全対象に災害時要救護者関連施設があるか	<input type="checkbox"/> 重要施設	<input type="checkbox"/> 一般施設	<input checked="" type="checkbox"/> なし	0		
			保全対象(農地・農業用施設)	<input checked="" type="checkbox"/> 「危険ため池」又は農地10ha以上あり	<input type="checkbox"/> 受益1ha以上の農業用施設又は流域対策上保全すべき農地あり	<input type="checkbox"/> 受益1ha未満の農業用施設、その他の農地あり	35		
		小計				85			
	(100)	重要性	交通遮断による地域経済などへの影響	<input checked="" type="checkbox"/> 大	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 小	70	0.1	10
			防災計画上の位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 位置づけあり	<input type="checkbox"/> 位置づけなし	<input type="checkbox"/>	30		
			小計				100		
	(100)	効率性	費用対効果(B/C)	<input type="checkbox"/> B/C1.5以上	<input checked="" type="checkbox"/> B/C1.0以上1.5未満	<input type="checkbox"/> B/C1.0未満	30	0.1	6
			効果の早期発現度(事業年数)	<input type="checkbox"/> 5年未満	<input checked="" type="checkbox"/> 5年～10年	<input type="checkbox"/> 10年以上	30		
			小計				60		
	(100)	緊急性	地すべり活動度	<input type="checkbox"/> 顕著な動きがある	<input checked="" type="checkbox"/> 軽微な動きがある	<input type="checkbox"/> 動きなし	40	0.4	16
			地すべり変状	<input type="checkbox"/> 変状あり	<input checked="" type="checkbox"/> 変状なし	<input type="checkbox"/>	0		
			小計				40		
(100)	計画 熟度	地元の協力	<input checked="" type="checkbox"/> 反対意見なし	<input type="checkbox"/> 反対意見あり	<input type="checkbox"/>	50	0.1	10	
		地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> それほど高くない	<input type="checkbox"/>	50			
		小計				100			
費用対効果(B/C)		1.24		評価の合計			68		
事業周 辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本地区は長野盆地の北部にあり、豊野断層と大倉断層と呼ばれる活断層が存在する場所で、各所で地すべりの発生が懸念されている。S30頃から地すべり活動が始まり、H7、H8豪雨により地すべりが発生し、農地が被災している。							
	地域からの要望経緯	地元住民からの連絡を受け平成23年度に調査し変状を確認。被害を未然に防ぐために、早期の対策工事実施が望まれている。							
	事業説明等の経緯	平成23年度に調査結果を地元住民に説明、今回の実施予定箇所について早期実施を求められている。							
	環境・景観への配慮項目	現況地形の改変を最小限とした対策工事計画を検討し、対策工事により発生する残土などは、なるべく有効利用する。							
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし							
	特記事項	地元の委員会による監視体制が整っており、巡視および維持管理も自主的に行われている。							
地域の合意形成	<input checked="" type="checkbox"/> 全員賛成	<input type="checkbox"/> 概ね賛成	<input type="checkbox"/> 過半数賛成	<input type="checkbox"/> 動向不明					
部意見	現地精査の結果、軽微な変状はあるものの緊急性は低いと判断されたため、翌年度以降の事業実施としたい。			行政改革課 意見	重要性が高く、必要性も認められるが、緊急性がやや低い。				